

いのちひかりあい

Vol. **12**



D. B. シュネーダー

W. E. ホーイ

押川 方義

三校祖の肖像画

東北学院史資料センター客員研究員
東北学院百五十年史編纂委員

日野 哲



東北学院の創立記念式が行われる当日、土樋キャンパス礼拝堂の正面には、必ず三校祖の肖像画が掲げられます。制作者は同窓生の布施信太郎で、美術団体の太平洋画会(現太平洋美術会)に所属する画家でした。肖像画の隅に布施のサインと「18 SHOWA」とあることから、制作されたのは戦時中の1943(昭和18)年と考えられます。制作を依頼した当時の「父兄会」と同窓会本部は、「校内の然るべき処に掲げ、その人格を偲び尊敬の念を忘れぬよう後進、学院生の教育に資したい」(『東北学院七十年史』)とその目的を述べています。

三校祖のうち押川とホーイはそれぞれの志に従って創立から約15年で東北学院を去り、シュネーダーが中興の祖として現在の学院の礎を築くこととなりました。シュネーダーは1922(大正11)年に完成した中学部校舎の正

面に“LIFE LIGHT LOVE”の3 Lの文字を掲げました。

三人が25年ぶりに顔を合わせたのは、土樋キャンパスに専門部校舎(現大学本館)が完成し、校舎落成式と創立40周年記念式が行われた1926(大正15)年でした。この再会の翌年にはホーイが、その翌年には押川が相次いで死去するので、三校祖は創立40周年という特別の時に最後の交わりをもつことができました。シュネーダーは1936(昭和11)年の創立50周年を機に院長を退任します。

創立記念式の後には市内のキリスト教共同墓地で校祖墓前礼拝が行われますが、創立100周年(1986(昭和61)年)の墓前礼拝では押川とホーイの孫の劇的な出会いがありました。「押川とホーイの100年後の再会」として創立記念の日に華を添える出来事でした。



神学部校舎正面に立つ三校祖
創立40周年記念式典



劇的な出会い



押川の孫とホーイの孫たち

2026年9月発行

東北学院宗教センター発行

あなたは
誰タイプ？

東北学院三校祖 チャート式マッチング診断

文案作成：大学宗教主任 藤野 雄大
デザイン：宗教センター主事 松田 結愛

質問に答えて、あなたの心に眠る三校祖のスピリットを探そう！

START!



Q. 1

自分の直感や「これだ!」というひらめき・感覚を何より大切に行動する。

YES!

NO

Q. 4

困っている人がいたら理屈より先に体が動き、現場で泥臭く汗を流す実践派だ。

YES!

NO

Q. 7

七ヶ浜の高山避暑地のような、海や山など大自然の中でリフレッシュするのが好きだ。

YES!

NO

Q. 2

1つのことにとらわれず、教育・ビジネス・社会活動など興味のある多方面に挑戦したい。

YES!

NO

Q. 5

美しい景色や感情を「詩」や「歌」「文章」で表現することに魅力を感じる。

YES!

NO

Q. 8

「LIFE LIGHT LOVE」のように、語感や響きが美しく覚えやすい言葉やスローガンが好きだ。

YES!

NO

Q. 3

自分の熱い言葉やスピーチで、周囲の心を動かし先頭に立って導くのが得意だ。

YES!

NO

Q. 6

国境や言葉の壁にとらわれず、未知の地(世界)へ飛び出すフロンティア精神がある。

YES!

NO

Q. 9

地道にコツコツと信頼を積み重ね、次世代に続く確かな土台を築くことに喜びを感じる。

YES!

NO



押川方義タイプ

**直感と多彩な事業に
挑むカリスマ**

「これだ!」という直感と熱い志を信じて進むあなた。教育だけでなく、事業や政治、社会運動など多方面に果敢に挑み続けた押川先生のように、バイタリティ溢れるチャレンジャーです！



W.E.ホーイタイプ

**世界を翔ける
詩人・熱血実践家**

国境を越える熱意と行動力を持つあなた。仙台に留まらず、中国伝道にも雄飛したホーイ先生のように、行動と表現で神の愛を世界へ届ける不屈の情熱家です！



DB.シュネーダータイプ

**誠実と調和の
人格者**

「3つのL」の標語のように、響きの美しい信念を大切にするあなた。大切な想いを「LIFE LIGHT LOVE」に込めて東北学院の発展に寄与し、高山避暑地を拓いたシュネーダー先生のように、人々の拠り所をつくる人です！

Our 140 Years

それぞれの
キャンパスから

法人



創立140周年記念式

創立140周年記念式が5月15日にラーハウザー記念東北学院礼拝堂で行われました。今年は創立140周年だけでなく土樋キャンパス100周年のタイミングでもあります。東北学院は140年にわたり、三校祖による「LIFE LIGHT LOVE」の基督教の精神をすべての教職員、在校生と分かち合ってきました。出席者一同三校祖の肖像画を前に、建学の精神に改めて思いを馳せました。

(宗教センター主事：阿部頌栄)

中・高



墓前礼拝

礼拝堂での記念礼拝のあと、シュネーダー先生の説教「我は福音を恥とせず」を拝聴し、その後、本校の卒業生の佐藤正美様から、「センダイ・タイムマシン ～昭和と令和の仙台を行ったり来たり～」と題した記念講演が行われました。

また、仙台北山キリスト教墓地において校祖墓前礼拝を実施しました。

(聖書課教諭：成智圭)

幼稚園



大学訪問

毎年5月に年長児が土樋キャンパスを訪問しています。これは、創立記念日と6月の花の日礼拝の一貫活動として行われているものです。原田理事長、大西院長に花束と絵手紙をお渡しした後、ラーハウザー記念東北学院礼拝堂にて礼拝をおささげし、今井奈緒子先生よりパイプオルガンの音色もきかせていただくなど、園児も東北学院創立140周年をお祝いしました。

(園長：島内久美子)

榴ヶ岡



創立記念週間

榴ヶ岡高校では、創立記念日までの一週間、創立記念週間の礼拝を捧げます。この創立記念週間の礼拝では、三校祖の話を聞き、建学の精神について学びます。その話を聞きながら、三校祖のように将来に希望を持てる新しい自分を造り上げようと、より真剣に自分自身と向き合っています。私は自分自身に向き合う時間は今の時代に非常に大切と捉えています。

(3年 藤森美羽)



大学オルガニスト
今井先生



センター長
大西先生

TGCFは、「LIFE LIGHT LOVE」の精神を大切にしながら、東北学院のみなさんがつながる交流の場です。

TOHOKU GAKUIN CHRISTIAN FELLOWSHIP

TGCF インスタグラム

TGCF活動紹介



わくわくイングリッシュ

幼稚園



英語で讃美歌を歌ったり、あいさつを練習したりしながら、楽しく英語に触れる時間を過ごします。

大学礼拝での賛美活動

大学礼拝



English Café

中・高



榴ヶ岡



English Caféは、様々な国から来た宣教師の方々と、ゲームやフリートークを通して交流するイベントです。国際交流や語学に興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。東北学院の各キャンパスで開催しています。

大学



日程などの詳細はTGCFのホームページやInstagramでお知らせします。

宗教センター新スタッフから一言



田所 佳澄
たどころ かつすみ
宗教センターチャプレン

2026年4月より宗教センターのチャプレンを務めています。よろしくお願いいたします。TGCF (Tohoku Gakuin Christian Fellowship) は、東北学院のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」を土台に、幼稚園から大学院までのキリスト教活動をつなぎ、支え、豊かにすることを使命としています。礼拝や聖書の学び、交わり、国際交流などを通して、神を知り、人と出会い、互いに支え合いながら歩む場となることを願っています。どうぞお気軽に宗教センターへお立ち寄りください。



松田 結愛
まつだ ゆめ
宗教センター主事

2026年1月より、宗教センターにて務めさせていただいております。毎週木曜日には多くの宣教師の皆様をお招きして学生との交流の場を設け、5月には特別音楽集会を開催するなど、充実したTGCFの活動を行うことができました。活動の有無にかかわらず、センターには多くの学生が訪れ、賑やかな日が多かったです。いつも忙しそうな学生の皆さんですが、センターがちょっとした居場所となっていれば幸いです。今後も活発で意義と目的のある活動を展開できるよう、一層心を配ってまいりたいと思います。



東北学院宗教センターだより
「いのち ひかり あい」
バックナンバーは
こちらから▶▶▶▶



「いのち ひかり あい」第12号

発行：東北学院宗教センター
発行責任者：宗教センター主任 原田 浩司
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1
TEL：022-354-8310
Email：c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



▲宗教センターHP